



山形県立酒田光陵高等学校
開校10周年記念誌

10th



山形県立酒田光陵高等学校 開校10周年記念事業

記念演奏会

【日 時】
令和3年10月19日(火) 14時～

【会 場】
酒田市民会館 希望ホール

【出 演】
本校音楽部吹奏楽班、野球部有志

〈第1部〉
マーチ・スカイブルー・ドリーム 矢藤 学 作曲
Ghost Train Eric Whitacre 作曲
〈第2部〉
野球応援メドレー
踊る大捜査線より -Rhythm And Police
松本 晃彦 作曲 三浦 秀秋 編曲
ウイスキーが、お好きでしょ
杉 真理 作曲 宮川 政治 編曲
ダンシング・ヒーロー
Angelina Fiorina Kyte 作曲 郷間 幹男 編曲
嵐メドレー 林 直樹 編曲



記念式典・記念講演会

【日 時】
令和3年10月20日(水)
記念式典 12時40分～
記念講演会 14時～

【会 場】
酒田市民会館 希望ホール

【次 第】
1 開式の辞
2 国 歌
3 「ひかりのうた」
酒田光陵高等学校 校歌
4 実行委員長挨拶
5 校長式辞
6 来賓祝辞
7 来賓紹介
8 祝電披露
9 感謝状贈呈
10 永年勤続者表彰
11 生徒代表のことは
12 閉式の辞

【講演会講師】
放送作家 脚本家 京都芸術大学副学長
小山 薫堂 氏

【演 題】
「幸せの企画術」

山形県立酒田光陵高等学校 開校10周年記念誌

1 開校記念式典・記念講演会	1	8 歴代校長あいさつ	14～15
2 校歌・校歌に寄せて	2	9 初代同窓会長、前工業教育協力会会長、	
3 校訓・校章について	4	歴代PTA会長あいさつ	16～22
4 沿革	5	10 先輩たちからのメッセージ	23～28
5 巻頭言	6～7	11 前職員より	30～35
6 開校10周年に寄せて	8～9	12 資料編	36～44
7 酒田市内旧四校の統合に至るまでの背景と経緯	12～13		

校 歌

「ひかりのうた」

～酒田光陵高等学校 校歌～

作詞：小山薫堂

作曲：大島ミチル

君は今なぜ ここにいるのか
それはここが 君のためにあるから
西の海風 時に厳しく
だから君を 守る黒松がいる

夢はぜんぶ 人がつくる
人はだれも 明日に向かう

ひかり輝く人になれ
酒田の丘に希望をこめて
光陵高校 ここは君を照らす場所

君は今なぜ 口ずさむのか
それは歌が 友の涙拭うから
若き年月 迷い多きて
だから君は 友と今日を語らえ

愛はいつも 人を癒す
人はずっと 人と生きる

ひかりを照らす人になれ
日本の海の恵みを受けて
光陵高校 ここは愛を学ぶ場所

ひかりの絆 永久に結ぼう



「ひかりのうた」の歌詞を分割し各クラスの集合写真とともに再構成し、記念式典の生徒会企画として発表しました。

校歌に寄せて

酒田光陵高等学校、開校10周年おめでとうございます。

校歌「ひかりのうた」を作詞させていただきました小山薫堂と申します。

僕がこの詩を書くにあたり、開校の一年半ほど前でしょうか、まだ建設中だった校舎を見に行きまして、そして、あの場所に立ち、海から吹いてくる風や黒松が風に揺れる音などを聞きながらこの歌詞を考えました。

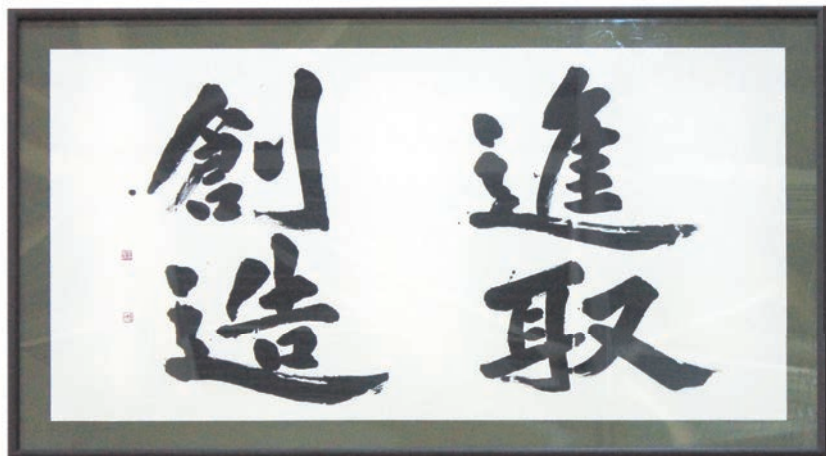
今回一番伝えたかったところは実は一行目にあります。「君は今なぜここにいるのか それはここが君のためにあるから」というこの部分に僕の思いは凝縮されています。この学校に入って何を学ぶのか、なぜ自分はここにいるのか。おそらく、今気づかなくても将来自分の人生を振り返った時、この学校が人生の最良の分岐点になったであろうとことを実感すると思います。未来に必ず自分が満足することを信じて、これからこの学校で頑張っていただけだと思います。

そして、「ひかりのうた」というタイトルなんですけれども、これはみなさんにひかりのような存在になって欲しいという思いを込めています。光陵高校の光という字も入っていますけれども、ここにも僕の思いがありまして、誰かを照らす、何か地域を照らすそういういろんな自分の思いで誰かを幸せにしたり助けてあげようというそういう思いの人になって欲しいとひかりという言葉をつかいました。こういう意味を考えながら、できれば校歌を歌い続けていただければと思います。本日は本当におめでとうございます。

小山 薫堂



校 訓



(揮毫 本校芸術科書道 莊司 麻衣子先生)

「進取 創造」

本校は、21世紀初頭から検討が始まった新高校設立の将来構想を踏まえ、山形県と地域の大きな期待を受け開校しました。

普通科、工業科、商業科、情報科の4大学科・5小学科を有し（令和3年度現在）、普通教育と専門教育を併せ持つ学際的な教育展開と、学校のスケール規模・学科構成を活かした総合選択制を柱とし、先進的で充実した施設・設備の中で、「知徳体が調和した人」、「自立し挑戦する心を持った人」、「国際的に活躍できる人」を育てる生徒像とし、将来の本県や我が国の発展に寄与する人材の育成をねらいとしています。

本校の使命は、地域起点に立ち、地域の伝統を受け継ぎ・伝えることを土台に、未来を託すべき次世代に向かって、変化に潜む様々な発展の芽を確実に創出していくことです。

現在の社会は大きな変化の中にあり、こうした時代を主体的に生きぬくには、自らが進んで率先して取り組み、そしてこれまでにない新しいものを創り出していく人材の育成が求められます。

こうしたことを踏まえ、21世紀と100年後の来る22世紀に向かって本校の大きな飛躍を目指し、「進取 創造」を山形県立酒田光陵高等学校の校訓とします。

校 章



学校名の「光陵」を基にしてデザインした。「光」の文字をベースにして、「陵」については文字ではなく、線と色を使い松林のイメージを深緑で表現した。21世紀に躍進することを願い、若さと情熱のシンボルとして作成した。

制作者 池田 正氏

開校までの沿革

平成18年5月～ 平成20年3月	酒田新高校（仮称）教育基本計画策定委員会設置	平成24年4月1日	県立酒田光陵高等学校開校（県立酒田商業高等学校、同酒田工業高等学校、同酒田北高等学校及び酒田市立酒田中央高等学校を統合） （23年度末で閉校した旧酒田工業高等学校、旧酒田北高等学校の校舎管理も行う）
平成20年4月～ 平成22年3月	酒田新高校（仮称）開校整備委員会設置	平成24年4月9日	開校式挙行 県教育委員長から校旗授与
平成22年4月～ 平成24年3月	酒田新高校（仮称）開校準備委員会設置	平成24年4月10日	平成24年度入学式挙行（入学生：416名）普通科（3）、商業科（3）、工業科（4）、情報科（1）の4科、33学級、生徒数1,236名
平成22年9月29日	県教育委員会が校名を「山形県立酒田光陵高等学校」とすると発表	平成24年8月31日	新体育館新築工事完成
平成23年4月1日	酒田光陵高等学校（仮称）開校準備室設置（酒田商業高等学校内）	平成24年10月20日	開校記念式典挙行 県教育委員会告辞 本校PTA校歌額寄贈（新体育館）
平成23年7月12日	山形県県立学校設置条例公布		
平成24年2月29日	校舎新築工事完成		

◆前身校四校の沿革概要



酒田商業高等学校校舎



酒田工業高等学校校舎と百間廊下



酒田北高等学校校舎



酒田中央高等学校校舎

【山形県立酒田商業高等学校】

明治40年5月9日	酒田尋常高等小学校附設酒田町立商業補修学校開校
平成23年10月22日	閉校記念式典挙行

【山形県立酒田北高等学校】

昭和23年3月31日	県立本楯高等学校（定時制）設置
平成24年3月4日	閉校記念式典挙行

【山形県立酒田工業高等学校】

昭和37年4月1日	酒田商工高等学校より独立し新たに県立酒田工業高等学校開校
平成23年11月23日	閉校記念式典挙行

【酒田市立酒田中央高等学校】

昭和15年5月4日	山形県酒田実科高等女学校として開校
平成23年11月26日	閉校記念式典挙行



ごあいさつ

校長
藤田 雅彦

「公益・環境・国際・情報」をキーワードに、普通教育と専門教育を併せ持つ、学際的な教育を展開する高校、高大連携等による高度な教育を展開する高校をコンセプトに創立された本校は、酒田商業、酒田工業、酒田北の県立高校と、市立酒田中央高校の四校の良き伝統と校風を引き継ぎながら、幅広い知識と高い専門性を身につけ、地域の産業や社会の発展に寄与する人材の育成を進めるとともに、地球規模で考え、地域起点で行動できる、いわゆるグローバルな資質を持つ人材の輩出を使命として、平成24年に誕生し、この度、開校10周年目を迎えることとなりました。

記念式典当日は、台風並みの低気圧が庄内を包み込み、生徒は学校から会場の希望ホールに移動することままならず、急遽、貸切バスを使っのピストン輸送となるような荒天にもかかわらず、県教育委員会はじめ、県議会、酒田市、市議会等、多くの御来賓の皆様の御臨席を賜りました。また、本校校歌「ひかりのうた」の作詞者小山薫堂氏より「幸せの企画術」と題した記念講演を頂戴し、無事に式典を挙行することができました。

開校以来、3,470名の卒業生と在校生は、各種検定や部活動、行事等において、県内はもとより、広く全国に酒田光陵高校の名を轟かせるなど、伝統校に引けを取らない多大な成果を収めております。また、ICT教育推進に適した設備が他校に先駆けて整備され、新しい時代に求められる資質と能力を育成するための地域連携型探究活動を特色として、積極的に展開する学校になっております。本校がこのような充実した活動を行えるようになったのは、多くの卒業生や在校生である皆さんの意識の高さによるものであり、そして様々に御尽力いただいた先生方、保護者や地域の方々等多くの関係者の長年に亘る御努力の賜でもあります。

結びに開校前年には東日本大震災、そして昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったように、不確実性が高く正解のないこれからではありますが、「進取 創造」の校訓の下、20周年、30周年という時を重ねていく中で、本校の社会的役割を十分に把握し、あわせてサステナブルやダイバーシティ、インクルージョンの視点を持ち、地域・学校・家庭が同じ目標に向かい、たとえ荒波にもまれても、黒雲を破り、一人ひとりが「学習する場」「自分が真剣になれるプロジェクトを探究する場」「地域社会の課題解決の場」として、地域とともにある学校となるようさらに邁進してまいります。

皆様におかれましては、今後ともなお一層の御支援、御協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。記念誌発刊にあたっての御挨拶といたします。



開校10周年に寄せて

開校10周年記念事業実行委員長
同窓会会長 スポーツ・文化後援会会長
大場 弥市

日頃同窓会員の皆様、関係者の皆様には同窓会の運営に対しご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

統合して本校は今年で10年になります。この10年はあっという間の10年でした。統合に向けての準備段階ではそれぞれの校風の違う四校が統合してうまくやっっていけるのか心配された方が多かったと思います。特にそれぞれの同窓会では皆さん心配されていたんだと思います。しかし四校が集まったの準備会議で皆さんが一番に考えたことは新しい学校の生徒たちにとって何が一番良いか、何をしなければいけないのかを常に考えたと聞いております。

しかし統合してからの光陵高校生は仲良く、問題もなく学校生活を送っていました。これまでの学校の統合で難しいのが同窓会の統合運営だと言われていましたが、本校の同窓会は統合後も四校ともに協力して、同窓会活動を運営してきました。

これもひとえに初代の齋藤俊勝同窓会長のリーダーシップのもと如何にして生徒たちの学校生活を支援していくかを考えてきた結果だと思ひます。

統合以来本校生徒の皆さんの活躍は素晴らしいものがあります。体育会系や文化系の活動では全国大会等で素晴らしい成績を残す活躍をしております。又、部活動のほかの社会活動にボランティアとして積極的に参加している生徒もたくさんおります。

平成27年11月にはスポーツ・文化後援会を設立し、多くの企業や個人の会員のご支援をいただき、スポーツ文化活動の充実を図ることができております。

現在同窓会の運営には旧四校の同窓会役員だけでなく本校卒業生からも理事、幹事として協力してもらっています。しかしまだ仕事が忙しく会議にはなかなか出席が難しいようです。これからはまだ時間がかかるかもしれませんが本校卒業生の役員から積極的に理事会等に出席いただき、同窓会の運営を引き継いでいきたいと思ひます。

開校以来あっという間の10年でしたが、様々な問題を乗り越えながら同窓会の運営を続けてきました。

これからも皆様のご協力をいただきながら、念願の同窓会の開催を実現し、活発な同窓会活動を続けていきたいと思ひますので本校同窓会に対し、皆様の御支援を宜しくお願い致します。



開校10周年記念式典の思い

PTA副会長
阿部 主

開校10周年おめでとうございます。

この10周年式典にあたり、酒田光陵高校の教職員の皆様、学校関係者の皆様方からご尽力いただき、無事式典が開催されましたことに感謝申し上げます。半年以上前より実行委員会が立ち上げられ、新型コロナウイルスの感染防止策等、通常では話し合えないような内容が多かったように感じられます。8月後半に入り県内の新型コロナ感染が急増したことで9月に臨時実行委員の会議が入り、ギリギリまで式典に関する内容の見直しが行われました。会議に参加された方々が「生徒たちの為になる式典、記念式典後でも学校生活を安心して送れる環境作りをしたい」という思いが一致しておりました。

記念式典の当日、天気はあいにくの雨となり、生徒たちの移動は自転車や徒歩と聞いていたのですが、学校側の配慮によりバスで移動、生徒たちも無事記念式典に参加となりました。私は一人の保護者として、10年目の節目であるこの記念式典に子どもが参加できるという事に喜びを感じておりました。また、子どもたちがこの記念式典・記念講演会に参加することで少しでも何かを学んで欲しいという希望もありました。小山薫堂先生の講演会では、生徒たちが楽しみながら講演を聞いていたと感じております。

小山先生の講演は、ユーモアを交えながら生徒たちに一つ一つ丁寧な口調で教え、論じていただいた内容と感じております。自宅に帰宅後、子どもに「小山先生はどんな話しをしていた？」と聞いた所「普段あたり前と思っていた事を、あたり前と思わない事。モノの見方を変える事が大事」この言葉に感動を得たようです。

最後にこの記念式典に参加することで生徒たちがより大きく成長できる内容であったことに感謝申し上げます。



酒田光陵高校の未来のために

生徒代表
板垣 颯馬

開校10周年おめでとうございます。

酒田光陵高校が開校して10年目という記念すべき年に、在校生として学校生活を送れることに喜びを感じています。10年という節目の年を迎えることができたのも、旧四校の同窓生の皆様が守り受け継いでこられた伝統と、光陵高校を卒業した3,000名を超える先輩方がつくってくださった新たな歴史のおかげだと思います。

平成25年2月に発行された生徒会誌「光絆（きずな）」第1号には初代生徒会長伊藤大介さんのこんな言葉がありました。

「何でもある施設や設備とは対照的に、何もない印象があります。それは伝統です。」と。開校以来先輩が光陵高校の伝統を創造しようと多くの取り組みをおこなってきました。

そして今年も体育祭と光絆祭を、大勢の生徒一丸となることができる、二つの大きな生徒会行事として受け継ぐことができました。

その一方で開校以来変わらないものも存在します。それは「挨拶」と「ボランティア精神」です。新型コロナウイルス感染拡大の影響で以前のような大きな声を届ける挨拶は難しくなりましたが、学校を訪れる方々、地域の方々への挨拶励行を実践しています。

学校周辺を取り巻く黒松林の環境整備を全校生徒でおこなう「全校ボランティア」も本校伝統の一つになっています。地域の先人の方々が残してくださった大切な松林の保全を、感謝の気持ちを込めて開校以来続けています。

私たちは先輩方が残してくれたこの伝統を後輩たちに受け継いでいきたいと思っています。

広く社会に目を向けると、SDGs、多様性、共生という言葉が時代のキーワードになっています。そんな時代の中で現在学校では生徒会と先生方が協力して、校則の見直しをおこなっています。様々な考えを持った私たち一人ひとりが、将来自己実現できるようなそんな学校づくりを目指しています。

校訓「進取 創造」の精神のもと「地域起点」を掲げ、私たち一人ひとりが地域の皆様に支えられ、共に学び成長することができました。

開校10周年を迎えた今、私たちは先輩から受け継いだものに私たちの思いを乗せて、学校の礎を確かなものにできるよう日々努力していきます。





初代校長
中山 英行

何故、酒田光陵高等学校が誕生したのか？

それは高度経済成長期の人材育成、若年人口増加に向けた高校新設とは異なり、縮小社会への対応、国際化・情報化・高度産業社会における学習環境を保障することが本質的なねらいであった。誕生の経緯は次による。

背景

統合最大の要因は少子化である。

公立高校在籍生徒数はこの半世紀間で半減し、県教委はこの間、募集停止や学級減、統合により教育環境の整備を進めた。

また、校舎老朽化と財政問題、入学定員約7対3の公私割合等も再編整備の要因である。

酒田市内旧四校

北村山、上山明新館、南陽、鶴岡中央、新庄神室産業の各校が次々と新設された理由もそれによる。

その状況下で、飽海地区中学校卒業生数も、平成元年度2,195名から平成28年度には1,122名に半減すると予測（平成13年市教委調べ）され、地区の再編整備も喫緊の課題であった。

再編への動き

地区高校再編の動きは平成12年から始まり、県教委はその望ましい在り方について、地域の意向の取りまとめを酒田市に依頼。

市教委は平成13年「酒田市の明日を担う高校教育市民懇話会」を設置し、その検討を経て、翌年2月、報告書を県教委に提出した。

その報告書には、酒田光陵高校の特色となる多学科の併置、総合選択制、規模の大きな学校の実現等、四校統合の布石となる内容が記されている。

の統合に至るまでの背景と経緯

その後、県教委は『山形県立学校再編整備計画』を示し、平成17年2月に四校統合を正式決定、3月に関係者に説明した。

その後の動きは次の経緯を辿る。

4月 「酒田新高校（仮称）構想検討委員会」概要発表

同窓会反対意見書提出

酒田市議会意見書提出

8月 酒田市長二校案提出

9月 公開協議説明会紛糾

県教委は熟慮を重ね四校案を断念。同年12月、酒田市と二校案（中央高校・新高校）で基本合意。敷地は中央高校及び隣接地とした。

しかし、酒田市は平成19年5月、突如方針を転換し、当初案であった四校統合への見直しを求めた。

理由は敷地面積、教育課程への不安、二校の教育活動の混在等、課題が明らかになったことによる。

県はこの再提案に当惑したが、同年7月、知事の判断により、最終的に当初の四校統合案に落ち着いた。

この2年間は混迷の時期ではあったが、関係者が真剣に対峙し、理解を深めた時期でもあった。

新高校設立に向けた難しさは、全国に例を見ない普通科・専門学科の中規模四校の統合であったこと。また、設置者・任命権者が異なる学校間の統合で、県移管や将来の費用負担の問題も存在した。

しかし、四校統合が決定して以降、県と市の連携、各委員会での検討、準備室の具体的作業、四校教職員の尽力により開校の準備が進められ、各校同窓会・PTAの協力も得て、平成24年4月、県立酒田光陵高等学校は誕生した。

なお、統合後、円滑に教育活動を進めることができた最大の要因は、当時の生徒達全員のわきまえた行動と活躍による。心より感謝したい。



酒田光陵高等学校校舎



新体育館完成(2012)

2012年 開校記念式典





進取創造の学校づくり

第2代校長
阿部 進

開校10周年おめでとうございます。

開校時は副校長として、26年度から2年間は校長として勤務しましたが、実は平成21年度から酒田北高校教頭として勤務し、開校準備委員会の一員として校歌や制服の制定をはじめ、生徒の学校生活全般に関わる規定づくり、年間行事や分掌組織、さらには県内唯一の専門情報科の開設責任者として、延べ6年間にわたり酒田光陵の学校づくりに携わりました。新高校開校という千載一遇の出会いに巡り会った6年間は、この地の未来の活力を担っていく学校の創造という、ダイナミックで最高に充実した幸せな教員生活でした。

校長として勤務した開校3・4年目は、1,300名の生徒と130名の先生方との酒田光陵の柱を如何に太くするかという実践の毎日で、活発な生徒会活動への期待と「地域起点」を具現化するために頻繁に生徒会役員との懇談を校長室で行ったものでした。酒田まつりへの三年次全生徒の参加、地域との交流の場としての光絆祭の開催、また文部科学省SPH指定による情報科の先進的な取り組み、そしてスポーツ・文化後援会の立ち上げなど、すべては酒田光陵の10年後の輝きを俯瞰し、確固たる光陵ブランドの確立をめざして取り組んだことばかりで、生徒に何度も言い続けた「挑戦」を自らにも求め続けた2年間であったと思います。

校訓「進取 創造」は開校初年度の開校記念式典での披露に向けて制定したのですが、多様な学科を持つ高校の姿として、また古より北前船の寄港地として新進の文化を取り入れてきた地に立つ学校として、求められる使命を4文字に託したものです。校長室にも校訓を掲げて、自らもそして先生方にも進取創造を求めたものでした。

スポーツ・文化後援会を立ち上げたく、当時の齋藤俊勝同窓会長に相談に伺った際、文武に加え芸を推し進める学校であってほしいと言われ、大きな示唆と力強い後押しを頂戴したことを思い出します。

酒田光陵は次代に向かって走り続ける高校として、「文武芸」という多様な個性が花開く進取創造の学校であってほしいものです。



開校10周年によせて

第3代校長
鈴木 和仁

開校10周年、誠におめでとうございます。

私が校長を務めさせていただいた2016年から2020年は、生徒の皆さんの活躍が目覚ましく、校長としては本当に恵まれた5年間だったと思います。インターハイや国体の優勝、全国高総文祭文部科学大臣賞受賞、全工協ジュニアマイスター顕彰優秀学校賞受賞及び認定者数上位校に選出（毎年）、日商簿記1級合格 等々、お陰さまで4回も知事の表敬訪問をさせていただきました。またそれとは別に、教育長への表敬訪問も数回行かせていただき、私も貴重な経験を沢山させていただきました。生徒及び指導にあたった先生方には心から感謝しております。本当にありがとうございました。

赴任以来「笑顔とやさしさ 挑戦する勇気を育てよう」をスローガンに、生徒一人ひとりの可能性を信じ、「出る杭を育てよう」という思いだけで突っ走った感があります。さぞかし先生方には迷惑をかけたのではないかと思っています…。生徒のがんばりに免じてどうかご勘弁ください。

最後の一年は、コロナ禍での学校生活でした。新しい生活様式での取り組みは、何もかもが初めてで、まさに校訓「進取 創造」の行動が試される一年だったと思います。生徒、教職員皆が、右往左往しながら開催した「冬の光絆祭」は記憶に残る素晴らしいものでした。多くの制限がある中で、それぞれの立場でアイデアを出し合い、互いを尊重し、見事に新しい光絆祭を創りあげました。あの時の生徒の笑顔、いつにも増して明るい挨拶、一人ひとりが輝いていました。それまでの閉塞感はどこかへ吹っ飛び、一人ひとりの輝きが大きな灯りとなって周囲を照らすということは、こういうことなのかと実感することができました。

“ひかりを照らす人になれ”「校歌 ひかりのうた」のとおりですね。

私は、酒田光陵高校には常に未来志向で他より先に一步踏み出し、時代が後から追っかけてくるような、そんな学校であってほしいと願っています。

これからの10年、楽しみにしています。応援しています。



次のステップへ

初代同窓会会長
初代スポーツ・文化後援会会長
齋藤 俊勝

開校10周年おめでとうございます。

旧四校やカラーも一つの新しい歴史とカラーになった。あっという間に統合できたことに、御苦勞なされた山形県、酒田市、歴代校長、教職員、PTA等の皆様に敬意を表します。私たち旧四校の同窓会は地域、学校、保護者、生徒のために失敗は許されないという気持ちで全面的に後方支援に徹する熱い思いがありました。

開校式で初代中山英行校長先生が「新しい発想と新しい視点で21世紀にふさわしい学校を創造し未来をつくりあげるため酒田光陵高校の歴史を築いていこう」と決意を述べられました。校訓は「進取 創造」です。同窓会も同じベクトルで学校とPTAに協力してきました。その延長線上に、2代目校長阿部進先生と学業だけでなく部活動や文化活動にも力を入れ、少しでも経済的な後押しができるようにと「スポーツ・文化後援会」の構想をスタートしました。

平成27年11月に設立され生徒の全国的な活躍は大きなニュースになっております。

現在はPTAの皆様からの会費と市内の企業様、個人様からの御寄付で運営されておりますが、今後も多くの皆様に力をお借りしたいところです。

3代目の鈴木和仁校長先生は更に校訓の「進取 創造」を具現化し、生徒のボランティアやビジネスモデル開発の支援のため一般社団法人SKIES^{スカイズ}を設立し全国的にも注目されています。新しい高校像づくりについて鈴木校長先生と対話できたことは、私の人生の財産になっています。

日本経済はこの30年間で大きく後退しました。国連が世界規模で環境や生活などSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取り組みをし、日本も新しい目標として国や地方を救う事業を求められています。

酒田光陵高校の次のステップは、令和の時代を生きる若者にお互いの考えを認め合い新しいものを創造する自立した行動のできる人材づくりであってほしい。

楽しい学校生活と地域の人々から愛される学校づくりに期待しております。



地域工業教育の前進する砦であれ

2016年度～2020年度 工業教育協力会会長
上野 光徳

山形県立酒田光陵高等学校創立10周年にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

酒田光陵高校が開校したのは、東日本大震災直後の混乱期。東北・北海道の公立高校では最大規模の学校として産声を上げました。公立高校四校を一つにまとめ、全体のベクトルを合わせることの難しさは容易に想像できます。「教育目標」「目指す学校像」「育てる生徒像」を先生方と生徒たちが力を合わせ実践として教育現場にしっかりと浸透させた10年だったのではないのでしょうか。毎年私が、学校行事に参加させていただくたびに、生徒の礼儀・態度・言動からそのことが伺い知れます。そして更に、10年後20年後、光り輝く学び舎となっているであろうことを楽しみにしております。

工業教育協力会とは、酒田工業高等学校教育振興会から引き継がれた歴史ある後援組織です。現在、協力会会員企業115社に入会していただき、工業科の様々な活動を援助しています。教育活動振興事業としては、「高校生ものづくりコンテスト」「県高等学校サーベイコンテスト」「メカトロアイデアコンテスト」「高校生ロボットコンテスト」「ジャパンマイコンカーラリー」「全国選抜高校生溶接技術協議会」等に、研究補助を行っています。また、県内では常にトップの輝かしい実績を持つジュニアマイスター顕彰では、有形無形の様々な面でサポートを継続しています。

今後は、目まぐるしく進歩発展する工業技術に教育の場が対応できるように、また、「工業」の魅力を更に情報発信することで、次世代の担い手を数多く育成していけるように、学校との連携を更に強化していきます。

ここ数年は、少子化による学級減など逆風が吹いておりますが、光陵高校工業科は地域の工業教育の砦として、堅持するだけでなく、前進することを心から願ってやみません。

結びに、開校からこの10年酒田光陵高校を支えてくださったすべての皆様に感謝申し上げご挨拶とします。



一年目は4人のPTA会長の団結力で

初代PTA会長
阿部 広幸

開校10周年おめでとうございます。

初めてPTA会長の話をいただいた時、正直非常に悩みました。私に務まるだろうか、そんな時に池田求氏（現酒田法人会会長）より「できない人には頼まないよ、阿部君に総理大臣を頼む人はいないだろう。きっと価値のある経験になるよ。」その言葉でやろうと決心しました。

私の学年には、統合がなかったらPTA会長をやるべき人があと3人いましたので、4人のPTA会長の団結で一年間乗り切れたのだと思います。

卒業式にはインフルエンザで残念ながら私は出席できなかったのですが、4人のPTA会長の一人、小松副会長（旧酒田中央高校PTA会長）が代役を務めてくださいました。卒業式の後の卒業を祝う会でも相蘇副会長（旧酒田商業高校PTA会長）、伊藤副会長（旧酒田北高校PTA会長）の頑張りにより盛大にとりおこなわれたと報告がありました。

今思い返せば私自身周りの人に助けられた一年だったと思います。

子どもたちの、「我々が伝統を築く」という目標を持ち達成するそのパワーは物凄く感じられたし、先生方の四校統合という難しいミッションを成し遂げていく気迫を間近で体感することができた素晴らしい開校一年目でした。



酒田光陵高等学校の思い出

第2代PTA会長
河原 邦弘

開校10周年おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

さて、10年の月日の流れは長いようで短く感じます。私は、開校の時から酒田光陵高等学校の先生方、地域の皆様、保護者の皆様、そして生徒の皆様、卒業生の皆様にご協力いただき大変多くのことを学ばせていただきました。創立した後も、乗り越えなければならない多くの課題がありました。その中で、皆様が根気強く解決してくださったおかげで乗り越えることができました。本当にありがとうございました。酒田光陵高校はご存じのように、普通科、工業科、商業科、情報科の学科と密に連携して相乗効果を発揮しています。それにより生徒たちの将来の活躍の場の拡がりがあります。その可能性はとても大きなものです。このような、素晴らしい環境が継続できているのも多くの関係者の皆様のおかげと思っています。

さて、私の光陵高校での思い出は、生徒の皆さんが、授業している姿、部活で活躍する姿、文化祭（現在の光絆祭）で素晴らしいパフォーマンスをする姿が目に残ります。保護者の皆様とは保護者活動や保護者会でお世話になり、文化祭では一緒に屋台をご協力いただいたことを思い出します。

今、日本及び世界では、想像もできなかったニューノーマルな時代に遭遇しています。皆様が大変な経験をされていると思います。残念ながら私は、酒田から離れて暮らしておりますので、皆様のご活躍を直に拝見できませんが、広報などでミライニでのご活躍他を拝見して応援しております。

最後になりますが、厳しい状況の中ですが、酒田光陵高校の生徒の皆様が、これからもより一層の多くの学び経験して成長してご活躍されることを願っております。また、関係者の皆様におかれましては、ご活躍とご繁栄を心よりお祈りしております。



開校10周年に寄せて

第4代PTA会長
一刀 健志

酒田光陵高等学校開校10周年を迎えるにあたり心よりお祝い申し上げます。
又当時会長としてPTA・後援会の皆様には絶大なご支援ご協力をいただき、改めて御礼申し上げます。

開校以来、教育施設と環境の充実など数々の事業に取り組んでこられた諸先生方、諸先輩の立派な業績に対して私はどんなお役に立てるのかと思ったこともありました。幸い良き巡り合わせで高P連を通じ、県内外のPTA役員の方々とお話しする機会に恵まれました。

その方々とは、今でも親交がありかけがえのない友人となっております。当時は事あるごとに情報交換をさせていただきました。単Pにおいても阿部校長・副校長・小野総務部長と先生方にご支援を賜りながら歩いて参りました。また、東北高P連青森大会では、研修会提言書の役割が回ってきました。学校の名に傷を付けぬよう、小野先生にお助けいただきこの役目を終えることができました。

光陵高校は地域起点を掲げ、ボランティア活動などで地域との連携や交流を推進しています。非公式ではありますが、同地区にある松陵小学校・第一中学校と市立・県立の枠を超え、三校のPTA三役が情報交換会を開催しております。このような取り組みは、先進的な光陵高校ならではの取り組みです。卒業生の中には、就職で上京はするものの、10年経ったら酒田に帰り、起業する。そのための修業をしに行くとの生徒がいました。若者の地方離れが進む中で故郷に帰り起業し地元貢献したいというこの志は是非とも応援したいことであり、熱心にご指導されてきた教職員の皆様の結果だと思います。私事になりますが、私の子どもたち3人とも同校を卒業いたしました。その経験から先生方のご指導や保護者の方々からの積極的なご協力などを身近に感じておりました。

結びに、10周年記念事業各位のご尽力に感謝し、光陵高等学校の今後ますますの発展をご祈念申し上げます。



酒田光陵高校開校10周年に寄せて

第7代PTA会長
佐藤 知光

山形県立酒田光陵高等学校開校10周年誠におめでとうございます。
心よりお祝い申し上げますとともにこれまでご尽力されてきました教職員の皆様方には深く御礼申し上げます。

10年前四校が統合し「光陵」という旗印のもととても大きな船が船出したことは皆様の記憶には新しい事と思います。今、光陵高校は「進取 創造」という校訓のもと多様な進路希望に対応できる高校として県内外から大きく期待されております。しかしながらここ数年の時代、世の中の変化は目まぐるしく子どもたちにはより一層の対応が求められる時代がくるのではないかと思います。

10月にはコロナ禍で開催も危ぶまれましたが多くの方々が記念式典、記念講演にご出席されましたこととても嬉しく思われます。何より当時お世話になりました学校関係者の皆様、当時一緒に行事や会議などに参加いただきPTA活動で多大な協力してくださいました仲間たちとです。

記念講演では小山薫堂先生の笑いを交えた講演はとても素晴らしい講演でした。多方面で活躍しておられる小山氏の講演で子どもたちは何かしらヒントをつかみ、何かを感じ、自分にとって何が必要かを認識しこれからの人生の進路の参考になったのではないかと、と思います。

最後になりますが、将来子どもたちが地域に根差し自分の故郷、酒田を誇りに思い次の世代につないでいけるような仕組みを作ることが大切なのではないかと思います。

今後も光陵高校が20年目、30年目と多くの歴史を積み上げていき後世に語り継がれていく事を誇りに思います。



祝 酒田光陵高校開校10周年

第8代PTA会長
三浦 えみ

開校10周年の節目を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆様の弛まぬご指導と、地域の皆様、歴代PTA役員並びにPTA会員の保護者の皆様のご尽力の賜物であると深く敬意を表します。10年前を振り返って、市立と公立の市内四つの高校が統合となり酒田光陵高校が誕生しました。その当時は北海道・東北地方において最大規模の公立高校であり、1,200名を超える生徒数と130名を超える教職員のマンモス校のスタートでした。

開校した2012年は東日本大震災の発生の翌年であり、不安定な社会状況の中、子どもたちの学習環境づくりが取り組まれました。それは前身である旧四校の、郷土を愛し人づくりにかける強い熱意をうかがい知ることができ、酒田光陵高校の原点であると感じます。

10年間の歩みの中で3,000名を超える卒業生を送り出してきました。同時に「進取 創造」という校訓のもと様々な挑戦がなされてきました。

生徒たちは自主性をもって一丸となって協力し物事に取り組み、地域社会のために貢献する姿勢を学ぶことができる学校というのが私の酒田光陵高校の印象です。

最後になりましたが、これからの時代の移り変わりにともない、子どもたちを取り巻く環境が急激に変化していくことが予想されます。それらに対応し子どもたちの健全な育成のために力を尽くすことがPTAの役割でもあります。開校10周年を契機として、今後一層学校、家庭、地域の連携を強め、一体となって子どもたちを見守り支え続けていくことを切に願います。

酒田光陵高等学校の更なる発展を祈念します。



新たな時代の節目に寄せて

初代生徒会長
伊藤 大介

開校10周年おめでとうございます。

10年前、四つの個性が一堂に集まった酒田光陵高校が華々しく開校しました。開校した2012年という年は東日本大震災からわずか1年という日本中が未だ先行きの見えない不安で包まれている時期でありました。光陵高校を卒業後しばらく被災地で働いていた私は、震災被害に遭われた方々が地元の復興のためにゼロから町をつくる様子を目の当たりにし、私自身故郷のためにここまで一生懸命になったことがあったらどうかと考えさせられました。また、幾度となく心を打たれることがありました。

地元を知ることは自分自身を知ることにつながります。光陵高校の皆さんには今しかできない活動を通して地域の魅力やまだまだ気づかなかった新しい特色を知り、それらを発信してほしいと思います。

皆さんのすぐそばには皆さんが考えている以上に様々なチャンスや感動に溢れています。生まれ育った故郷に誇りを持てればそれが自信になって表情にも表れてきます。後輩たちの自信に満ちた顔を母校の誇りとして、卒業生一同皆さんの益々の活躍を楽しみにしています。



開校して最初の学校祭「創設祭」
2012年10月26日(金)～10月27日(土)
に開催されました。
「創設祭」という名前に初代生徒会長の
思いが込められています。左は創設祭
のポスター原画。原画制作は当時2年
生の美術部 阿部ちせさん。



これまでの10年を、未来に繋げて

第5代生徒会長
石塚 あゆ美

この度は、酒田光陵高校の開校10周年を心よりお祝い申し上げます。

私の学生時代の頃の思い出は、クラスメイトのたわいなし会話で笑わせてもらうなどの日常的な事から、体育祭や文化祭などの華やかな行事に至るまで様々なシーンに渡り、話し始めたら枚挙にいとまがありません。光陵で過ごした時間は本当に貴重でした。

また、先日酒田駅前交流拠点施設として完成された「ミライニ」にて、光陵生が活躍していることを知りました。私が生徒会長を務めたのは開校5年目の年でしたので、まだまだ学校の基盤を安定させようと必死だったのを覚えています。そのために、地域に根ざした活動に力を入れていました。その頃固めた基盤を、後輩たちがより確かな物としてくれたように感じ、とても嬉しかったです。

光陵生には地域の中で一際輝く存在であって欲しいと思います。そしてその経験を活かし、今後も更なる発展を遂げていくことを、心からお祈り申し上げます。



向上無限

ウエイトリフティング部
平成29年度南東北インターハイウエイトリフティング競技 53kgスナッチ 優勝
中央大学4年
長谷部 達也

酒田光陵高等学校、開校10周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私は光陵高校第6期生として情報科に在学し、3年間応援委員会に所属し委員長も務めさせていただきました。2年生の時にウエイトリフティング部の顧問の先生から熱意のある勧誘を受け、入部しました。顧問の指導のもと練習を重ねていき、全国選抜大会出場、東北大会優勝、インターハイではスナッチで優勝することができ、顧問の先生と喜びを分かち合えたことは一番の思い出です。

光陵高校に入学したことで私の人生が大きく変わりました。顧問の先生との出会いでウエイトリフティングを始めた事。担任の先生の進めもあり、考えていなかった大学に進学した事です。今大学で日々向上無限の言葉を胸にまた、光陵高校卒業生として大学新記録、日本代表を目指して頑張っています。私事になりましたが、酒田光陵高校の益々の発展を祈り、お祝いの言葉とさせていただきます。



令和2年度第80回全日本ウエイトリフティング選手権大会 4位



在校生の皆さんへ

水泳部
第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン2017 水泳競技5種目入賞
山梨学院大学3年
齋藤 京香

この度は、酒田光陵高校開校10周年誠にありがとうございます。

心よりお祝い申し上げます。

私の高校生活は数え切れないほどの思い出で溢れています。クラスみんなが一つになって盛り上がった体育祭、笑顔や個性いっぱいの文化祭などカメラロールを振り返る度にもう一度戻りたいと思ってしまう行事ばかりです。何気なかった友だちとの思い出一つ一つが、今の私の心の支えとなっています。

私が高校2年の夏に出場したデフリンピックでは、先生方や友人をはじめたくさんの方々に応援していただき、私だけの力ではないのだと改めて強く思いました。

現在、地元を離れ大学生活を送りながら、来年開催予定のデフリンピックへ向けて練習に励んでいます。在校生の皆さんも一日一日を大切に、様々なことに挑戦して充実した高校生活を送ってください。

最後になりましたが、酒田光陵高校の今後益々のご発展とご活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



第15回日本ろう者水泳選手権大会 兼 第24回デフリンピックチャレンジレース
25mバタフライ 優勝 日本新記録、50mバタフライ 優勝 大会記録タイ、100mバタフライ 優勝、100m個人メドレー 優勝 日本新記録



今を全力で！

ボート部
平成29・30年度国民体育大会ボート2連覇
立命館大学経済学部3年
鈴木 伶奈

光陵高校開校10周年おめでとうございます。

このような機会をいただくことができて大変嬉しく思っております。

いきなりではありますが、「今、高校時代を振り返ってください」といわれたら私は、「ボート」と答えます。私の高校生活は、朝起きて、学校に行って、練習して、家に帰っての繰り返しでした。それに加えて、合宿で2週間程度学校を抜けることが多くあり、その際に、友だちに授業ノートを見せてもらうなどして復習をしていました。今考えると、毎日忙しくてもその瞬間を楽しんでいたからこそ、苦ではなかったなと感じています。

現在関西にある立命館大学のボート部に所属し、2年連続で主将を務めています。去年インカレで女子総合優勝をとることができました。この女子総合優勝を獲得することができたのも、私だけの力だけではなく部員全員の勝ちたいという気持ちが一致した結果がこの結果に繋がったのだと思います。そこで私が感じたことは、今生きている瞬間を全力で楽しんで一生懸命に頑張ることが大事なことだなということで、同時に光陵生に伝えたいことでもあります。今の瞬間を一生懸命に生きることによって私のように思い出になりますし、これから社会に出て働く際に役に立つことだと感じます。

忙しい高校生活を過ごしてきたからこそ、今大学生ボート部で頑張れる糧になっています。

これからも一瞬一瞬を大事に苦しくても諦めることなく目標に向かって努力し続けています。



第99回全日本選手権 兼 第48回全日本大学選手権
舵手付き女子フォア優勝(埼玉県戸田漕艇場)



後輩のみなさんへ

写真部

平成30年度全国高校総合文化祭写真部門最優秀賞 文部科学大臣賞受賞

佐藤 礼偲

この度は山形県立酒田光陵高等学校の開校10周年誠にありがとうございます。

これからも希望に満ち溢れた生徒の学び場として、末永く伝統を築き上げることを期待いたします。

私の高校時代の思い出といえば何と言っても、写真部での活動です。毎週末作品作りに励み、庄内を中心としたエリアの美しい風景に触れ、部員と向き合いながらそれぞれのスキルアップになるような活動をしていました。校内で充実した活動ができたことを誇りに思います。

現在では、活動範囲を全国に広げ北海道、四国、九州一周や本州横断などしながら自己の作品作りに取り組んでおります。

後輩のみなさんへお願いします。今自分が好きなこと、頑張っていることに全力で取り組んでみてください。好きこそ物の上手なれ、どんなことでもきつといつか実を結ぶことでしょう。

最後になりますが、地域に愛される学校として酒田の産業ともかかわりを深め、更なる進化と発展を祈念いたします。



作品タイトル「上昇」
撮影地：宮城県東松島市
松島基地 上空
撮影日：2021年11月19日





開校10周年に寄せて

第3代副校長
守屋 裕孝

開校10周年、おめでとうございます。

平成27年度と28年度の2年間、酒田光陵高校に勤務する機会をいただきました。職員数12名の職場から、全校生徒約1,200名、職員数約130名という職場への転勤。大きな戸惑いを感じつつも、約半分の先生たちは顔見知りの先生で緊張の中にもどこか安心している自分がいました。引き継ぎの際に聞いた「開校から3年たってようやく落ち着いてきた」という意味深な言葉に期待が膨らみました。

入学式、始業式で多くの生徒を目にし、「ひかりのうた」を何度か耳にするうちに大人数での全校集会にも慣れ、あっという間に4月が過ぎました。酒田まつりへの参加、高校総体や高総文祭、各種の資格試験取得や地域と繋がるボランティア活動等々、内外での生徒の活躍を目にし、大規模校ならではの力を感じました。

一方で27年度中にスポーツ・文化後援会を設立すべく、同窓会長さん、校長先生、副校長先生、事務部長さんと分担して地元企業を訪問して協力を依頼して回ったことも良い思い出です。平成28年度の大きな仕事は創立から5年を過ぎる校務分掌の見直し。最大の課題は、学級減に伴い年々職員数が減少していくことを見据えた各分掌の人数や、担任・副担任等の見直しでした。校務分掌検討委員会で検討を重ねて基本方針が決定。人事異動の内示を受けた直後から希望調査を基に人選に取り組み、希望が叶わない先生には一人ひとり時間を掛けてお願いし、納得して承諾してもらい、ようやく新年度の校務分掌が決定した時のことを今でもはっきりと覚えています。多くのことを学んだ2年間でした。

今は一住民として、開校10年目を迎えた酒田光陵高校を見っていますが、御校の更なる発展を祈念し、各方面で活躍する光陵高校生とその生徒を指導している先生たちを、これからも可能な限り応援していきたいと思います。



感謝

初代事務部長
高橋 博美

開校10周年おめでとうございます。

酒田光陵高校生の活躍を記事で目にするたびに、開校に携わった一人としていつも嬉しく思っています。

きちんと挨拶ができる、地域活動に積極的に飛び込む、そしてコミュニケーション能力を高める… 他校が真似のできない強みです。

SKIESの立ち上げも特筆すべきものです。生徒のことを一番に考える先生方のご指導の下、これからも元氣な姿を見せてください。

私は平成23年、東日本大震災が起きた翌月、人事異動で酒田商業高校事務部に着任しました。四校統合による酒田光陵高校の開校準備、定時制の酒田西高校への移管、酒田商業高校の閉校を年度内に終えるようにとの引き継ぎを受けてから、開校後の2年間を含めた3年間はとにかくずっと必死でした。開校してからも慌ただしい毎日でした。

33クラス1,200名を超える生徒数、職員数も130名超の大規模校の誕生です。生徒昇降口の下足箱が不足し一年次生は旧酒田中央校舎の昇降口を使用しました。新高校なのに旧校舎があり、新体育館はまだ完成していませんでした。駐車場の整備もまだで職員用の駐車場はかなり離れたところにありました。開校したばかりの4月に爆弾低気圧で被害を受けたり旧校舎で火災報知器の誤作動や煙が出る騒ぎもありました。閉校した旧酒田工業高校と旧酒田北高校の管理では休日に警備会社から呼び出されたり、不審者が侵入したりといろいろなことがありました。準備したつもりでも足りないものが出てきて、走りながら考えることも多くありました。

それでも事務部が何とかピンチを乗り越えられたのは、先生方やPTA、後援会、同窓会などの皆様方からいつも温かく支えていただいたおかげです。

初代校長となられた中山先生は常に落ち着いていて明確な指示を出してくださる素晴らしい指揮官でした。

“学校は生徒が輝く場所であるべき”

酒田光陵高校の今後のますますのご発展をお祈りいたします。



「公益と産業社会」に寄せて

初年度入学生普通科担任
大場 広子

酒田光陵高等学校の開校10周年を心からお祝い申し上げます。

私は幸運にも、酒田商業高校在職中から新高校の準備と、開校からの7年間、生徒や地域の方々と共に汗を流す「協働」の場に参加させていただきました。

特に開校までの3年間、学校設定科目「公益と産業社会」の指導計画作成に関わらせていただいたことは、やり甲斐ある仕事であったと感じています。担当教科の異なる作成委員会のメンバーからも、幅広く学び追究し合うことができました。

その内容は、4つの学科を貫く土台となる「新しい学び」として、公益社会の実現を目指して地域の課題を発見し、解決に向けて調べ、学び、対策を発表し合うことが中心にありました。このアイデアを活かし説得力ある、実現可能な提案にするには論理的根拠が必要です。しかし一年次生で達成することは難しく、専門学科で学びながら深めることへの期待も含んでいました。そうした学びの為に大きな階段教室が設置されました。

この大掛かりな構想を机上の空論に終わらせない為に、私も開校年度新入生の担任を希望しました。

スタートしてみると、想定外のことが荒波のように押し寄せ、皆で必死に乗り越えて来ました。その中でいつも考えていたことは、生徒一人ひとりにとって高校生活は一生に一度、たった3年間なのだとということです。

家庭科の教科書には「人生百年時代を見通して生きる」為の力をつけることが強調される昨今、一人ひとりの3年間に何を残せるか、日々の授業は真剣勝負であったと思います。

当時は開校式も入学式も旧体育館でした。駐輪場は遠くにあり、新体育館は秋まで工事中でも、新たな歴史を創る意気込みに溢れた上級生を手本に、精一杯の汗を流しました。今、20代半ばになった卒業生たちは、自分らしい人生を歩んでいるでしょうか――。

時が経てば見直しも必要です。10年前の発想はもう古い(?)。だからこそ学び続けることが必要です。そして、どんなに社会が変わっても変わらないものもあります。自分らしい身近なテーマで地道に積み重ねることが、いつか誰かを救う力にもなると信じて、Think Globally, Act! Act! Act Locally!



オンラインによる光陵高校第一回同窓会

機械科一期生担任
伊藤 兵吉

開校10周年おめでとうございます。

酒田工業、酒田商業、酒田北、酒田中央の各四校で2年間の高校生活を送った生徒たちは2012年4月に酒田光陵高校3年生として新たなスタートを切った。ボロかった校舎、設備からピカピカのスタートであった。何より戸惑ったのは生徒と教職員の多さだ。1年かかっても全職員の名前は、恥ずかしながら覚えきれなかった。

それぞれの生徒たちの進路も決まり、そして卒業式。式の前のHRで一応念を入れた。「今日は光陵高校の最初の卒業式だ。酒工の先輩たちのような奇を衒うような返事はするな!!」ただ、10人くらいの生徒たちにはこの日本語は通じていなかった。思えば大きな事故があったり、統合に伴う大仕事があったり、自分の人生上で最も濃密な2年間であった。

さて、主題に戻って光陵高校一期生も社会人になって早8年、光陵高校初の光陵卒業生のみによる同窓会「オンライン同窓会」に参加してくれたのは、東芝府中に就職したH君、椿本チェーンのY君、牧野フライスのK君だ。いずれの勤務先も一部上場企業で3人とも関東圏で働いている。情報科の丸山先生から慣れないPC操作の手ほどきを受け（丸山先生を光陵高校に紹介したのは私）最初に画面に現れたのはY君、Y君曰く「先生ご無沙汰しています。先生からこの会社を紹介してもらって本当に感動しています。」おっ、初っ端から嬉しいことを言ってくれるね。そしてH君、K君。仕事は大変だけど楽しい、彼女ができた、英国に仕事で1年間いた、そのうちY君、H君はビールを飲み始めるし。何だかんだとお互いの情報交換をしながらあっという間に1時間くらいが過ぎた。懐かしい、楽しい時間でした。何より、仕事は大変だと言いながらも、仕事で力をつけ生活を楽しんでいる逞しい彼らを見て力づけられました。

これから光陵高校を卒業していく生徒たちが、自分たちが過ごした学校生活の足跡と一緒に振り返り見られるような機会や企画があればいいなと思いました。

大変有意義なオンライン同窓会、関係各位に感謝申し上げます。



開校準備に携わって

初代教務部長
県立荒砥高等学校 教頭
猪又 義則

開校10周年誠にありがとうございます。

2005年3月8日、山形新聞朝刊の一面トップに「酒田の四校を統合」「1,200人規模11年度開校へ」と報道され、市内四校の合併と、1,200名の大規模校になることを知り、大変びっくりしたことを覚えています。その後、様々な形が検討されながら開校時の普通科3、工業科4、商業科3、情報科1の計11クラスに決まり、2007年度から本格的な開校準備が始まりました。開校準備のために、教育計画班、施設設備班、学校組織班（その後学校生活・特別活動班）、進路指導班（入選・広報班）、4つの検討班が設置され、班ごとに検討を行いました。開校準備室が開設されてからは、毎週火曜日に、4人の班長が準備室に集まり、進捗状況の確認や課題について共有しながら準備を進めていきました。

私は、教育計画班に所属し主に、学校の教育内容や時間割、成績処理システムを中心に検討を行いました。新高校は普通科と専門3学科が併置されている学校でその多様さを活かし、学際的な学びを行うために学科の垣根を越えた科目選択ができる総合選択制を導入した教育課程の編成を行いました。しかし、総合選択制は一個年次すべてのクラスが選択科目となり、縛りがかかるため時間割が編成できるのか、専門学科の実習が、現在と同じ持ち方ができるのかなど、エクセルに入力し、シミュレーションを行ったことを思い出します。また県内初となる統合型校務支援システムは、本校の複雑なカリキュラムに対応できるシステムであるか、リアルタイムで出席確認ができるかなどを検討した結果、出席管理や成績処理、調査書、指導要録の作成まで一貫したシステムを導入できたことは大変良かったと思っています。

全国でも数少ない大規模で多学科の統合にかかわる開校準備に携われたことは、貴重な体験でしたし、忙しい中にも充実した日々を過ごすことができました。また、100名を超える多くの先生方と新しい高校を築こうとする熱意に押されながら一緒に仕事できたことがとても懐かしく思い出されます。



酒田光陵高校での思い出

初代情報科長
県立米沢東高等学校
蒲生 定之

開校10周年おめでとうございます。

在職当時は、苦勞としか思えないほど余裕がありませんでしたが、離れてしまうと貴重な経験をしたのではないかと思えるようになりました。

私が所属した情報科は県内では初めての設置だったため、すべて始めからやらなければならませんでした。特に困ったことは「教科書が存在しない」科目があったことです。学習指導要領に科目の説明や扱うべき内容は書かれていますが、教科書が存在しないという経験は今までになく、困り果ててしまいました。過去の自分の経験や情報科の同僚に相談してなんとか授業を作り上げることができました。平成26年度から28年度まで情報科が「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」(SPH)の指定を文部科学省から受けたこと、平成27年度に「専門学科『情報科』研究協議会酒田大会」(専門学科情報科の全国大会)を開催したこと、開校時から4年間、教務部員として校務支援システムの運用管理をおこなったことです。

SPH事業を受けたことは、現在の情報科活動の礎になっています。このSPHで情報科が導入した教育機関向けグループウェアサービスは、現勤務校の導入時にメンバーの一人として動きました。不明な点が出てくれば元同僚に電話をかけて解決し、現勤務校で十分に利用されています。また、「研究協議会酒田大会」は開校して4年目での実施ということで、酒田光陵高校の他学科・他教科の職員、他都府県の専門学科情報科のある高校に色々お聞きして進めることができました。さらに、校務支援システムの運用管理については現勤務校でもしており、数年間は運用管理から離れることができないと思われま

す。在職時、多くの経験をすることができましたし、多くの生徒や同僚と出会うことができました。教員をしている私にとって宝となっています。酒田光陵高校の益々の発展を、酒田から一番遠い地区で祈念いたします。

年度	校長	教職員数	PTA会長	トピックス	3年担任団	2年担任団	1年担任団			
		生徒数	生徒会長							
		クラス数(学科)								
2012 (H24)	中山 英行	134	阿部 広幸	・酒田光陵高校開校式典 ・新体育館完成(2012/8/31)	3学年主任 中里 信哉 1組(普通) 徳永 聡 2組(普通) 水尻 浩一 3組(普通) 今田 信吾 4組(普通) 池田 健 5組(機械) 伊藤 兵吉	6組(電子) 御船 直人 7組(エネ) 青山 尽 8組(環境) 阿部 諭 9組(国経) 大井 直 10組(国経) 大裕 一雪 11組(国経) 須貝慎太郎	2学年主任 長谷川良昭 1組(普通) 三宅 国彦 2組(普通) 井上 亮子 3組(普通) 杉山 清子 4組(普通) 吉續 正明 5組(機械) 小山 大央	6組(電子) 菅原 敏 7組(エネ) 佐藤 悟 8組(環境) 五十嵐 洋 9組(国経) 栗木 泰智 10組(国経) 梅津 吉絵 11組(国経) 佐藤 一美	1年次主任 増子 博孝 1組(普通) 荒井 伸哉 2組(普通) 大場 広子 3組(普通) 青山 武 4組(機械) 小山 剛史 5組(電子) 佐々木 司	6組(エネ) 古川 武房 7組(環境) 高橋 裕 8組(国経) 成澤 弘之 9組(国経) 阿曾 美幸 10組(国経) 増子 靖 11組(情報) 木村 良二
		1236(男子640 女子596)								
		3年11クラス〈普4・工4・商3〉 2年11クラス〈普4・工4・商3〉 1年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉	伊藤 大介							
2013 (H25)	中山 英行	133	河原 邦弘		3年次主任 長谷川良昭 1組(普通) 三宅 国彦 2組(普通) 井上 亮子 3組(普通) 杉山 清子 4組(普通) 吉續 正明 5組(機械) 小山 大央	6組(電子) 菅原 敏 7組(エネ) 佐藤 悟 8組(環境) 五十嵐 洋 9組(国経) 栗木 泰智 10組(国経) 梅津 吉絵 11組(国経) 佐藤 一美	2年次主任 増子 博孝 1組(普通) 荒井 伸哉 2組(普通) 大場 広子 3組(普通) 青山 武 4組(機械) 小山 剛史 5組(電子) 佐々木 司	6組(エネ) 古川 武房 7組(環境) 高橋 裕 8組(国経) 成澤 弘之 9組(国経) 高橋 卓也 10組(国経) 増子 靖 11組(情報) 木村 良二	1年次主任 鈴木 宏 1組(普通) 嵐田 学 2組(普通) 小林 千穂 3組(普通) 枝松 義照 4組(機械) 菅谷 昭測 5組(電子) 池田 昭彦	6組(エネ) 遠田 幸平 7組(環境) 伊藤 造 8組(国経) 豊田 彩子 9組(国経) 佐藤 実穂 10組(国経) 星 光里 11組(情報) 櫻井 敬士
		1246(男子680 女子566)								
		3年11クラス〈普4・工4・商3〉 2年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉 1年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉	小松 藍士							
2014 (H26)	阿部 進	132	佐藤 隆之	・酒田まつりへの3年次生全員参加 ・文部科学省SPH指定(情報科)	3年次主任 増子 博孝 1組(普通) 荒井 伸哉 2組(普通) 大場 広子 3組(普通) 青山 武 4組(機械) 小山 剛史 5組(電子) 佐々木 司	6組(エネ) 古川 武房 7組(環境) 高橋 裕 8組(国経) 成澤 弘之 9組(国経) 高橋 卓也 10組(国経) 増子 靖 11組(情報) 木村 良二	2年次主任 鈴木 宏 1組(普通) 小林 千穂 2組(普通) 嵐田 学 3組(普通) 枝松 義照 4組(機械) 菅谷 昭則 5組(電子) 池田 昭彦	6組(エネ) 遠田 幸平 7組(環境) 伊藤 造 8組(国経) 豊田 彩子 9組(国経) 佐藤 実穂 10組(国経) 星 光里 11組(情報) 櫻井 敬士	1年次主任 澁谷 正敏 1組(普通) 大谷 哲史 2組(普通) 大井 直 3組(普通) 新田佳奈子 4組(機械) 五十嵐 洋 5組(電子) 御船 直人	6組(エネ) 須貝 泉 7組(環境) 高橋 茜 8組(国経) 加藤 憲一 9組(国経) 徳永 聡 10組(国経) 石垣 馨 11組(情報) 五十嵐寛之
		1259(男子707 女子552)								
		3年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉 2年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉 1年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉	齋藤 達也							
2015 (H27)	阿部 進	128	一刀 健志	・国際経営科3クラスから ビジネス流通科・ビジネス会計科2クラスへ ・スポーツ・文化後援会設立	3年次主任 鈴木 宏 1組(普通) 小林 千穂 2組(普通) 嵐田 学 3組(普通) 枝松 義照 4組(機械) 菅谷 昭測 5組(電子) 池田 昭彦	6組(エネ) 遠田 幸平 7組(環境) 伊藤 造 8組(国経) 豊田 彩子 9組(普通) 佐藤 実穂 10組(国経) 星 光里 11組(情報) 櫻井 敬士	2年次主任 澁谷 正敏 1組(普通) 大谷 哲史 2組(普通) 大井 直 3組(普通) 庄司 吉郎 4組(機械) 五十嵐 洋 5組(電子) 御船 直人	6組(エネ) 須貝 泉 7組(環境) 高橋 茜 8組(国経) 加藤 憲一 9組(国経) 徳永 聡 10組(国経) 石垣 馨 11組(情報) 五十嵐寛之	1年次主任 菅原 敏 1組(普通) 伊藤 茂樹 2組(普通) 小笠原智哉 3組(普通) 庄司麻衣子 4組(機械) 小山 剛史 5組(電子) 加藤 和彦	6組(エネ) 高橋 亮 7組(環境) 伊藤 克之 8組(国経) 松永久美子 9組(国経) 後藤 俊之 10組(情報) 高橋 卓也
		1223(男子663 女子560)								
		3年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉 2年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉 1年10クラス〈普3・工4・商2・情1〉	斎藤 叶							
2016 (H28)	鈴木 和仁	125	阿部 英昭	・普通科3クラスから2クラスへ ・同窓会褒賞メダルの作成 第一回授与	3年次主任 澁谷 正敏 1組(普通) 大谷 哲史 2組(普通) 大井 直 3組(普通) 庄司 吉郎 4組(機械) 五十嵐 洋 5組(電子) 御船 直人	6組(エネ) 須貝 泉 7組(環境) 高橋 茜 8組(国経) 加藤 憲一 9組(国経) 徳永 聡 10組(国経) 石垣 馨 11組(情報) 五十嵐寛之	2年次主任 菅原 敏 1組(普通) 伊藤 茂樹 2組(普通) 小笠原智哉 3組(普通) 庄司麻衣子 4組(機械) 小山 剛史 5組(電子) 加藤 和彦	6組(エネ) 高橋 亮 7組(環境) 伊藤 克之 8組(国経) 松永久美子 9組(国経) 増子 博孝 10組(情報) 高橋 卓也	1年次主任 水尻 浩一 1組(普通) 布施 良介 2組(普通) 渡辺まり子 3組(機械) 青山 武 4組(電子) 佐藤 成美 5組(エネ) 多田 和弘	6組(環境) 高橋 誠 7組(ビ流) 阿部 容子 8組(ビ会) 佐久間辰巳 9組(情報) 蒲生 定之
		1148(男子618 女子530)								
		3年11クラス〈普3・工4・商3・情1〉 2年10クラス〈普3・工4・商2・情1〉 1年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉	石塚あゆ美							
2017 (H29)	鈴木 和仁	121	梶原 政広	・水泳部 齋藤京香 デフリンピック入賞 ・ウエイトリフティング部 長谷部達也 インターハイ優勝 ・ボート部 鈴木伶奈 国体優勝 ・一般社団法人SKIES設立(2018/2/9)	3年次主任 菅原 敏 1組(普通) 伊藤 茂樹 2組(普通) 小笠原智哉 3組(普通) 庄司麻衣子 4組(機械) 小山 剛史 5組(電子) 加藤 和彦	6組(エネ) 高橋 亮 7組(環境) 伊藤 克之 8組(国経) 松永久美子 9組(国経) 増子 博孝 10組(情報) 高橋 卓也	2年次主任 水尻 浩一 1組(普通) 布施 良介 2組(普通) 渡辺まり子 3組(機械) 青山 武 4組(電子) 池田 昭彦 5組(エネ) 多田 和弘	6組(環境) 高橋 誠 7組(ビ流) 阿部 容子 8組(ビ会) 佐久間辰巳 9組(情報) 蒲生 定之	1年次主任 鎌田 英人 1組(普通) 豊田 彩子 2組(普通) 池田 正敏 3組(機械) 新田佳奈子 4組(電子) 長谷部 努 5組(エネ) 雷慳 和也	6組(環境) 荒井 伸哉 7組(ビ流) 小野伸太郎 8組(ビ会) 佐藤 千穂 9組(情報) 難波 秀幸
		1087(男子564 女子523)								
		3年10クラス〈普3・工4・商2・情1〉 2年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉 1年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉	金子 南奈							
2018 (H30)	鈴木 和仁	117	佐藤 知光	・ボート部 鈴木伶奈 国体2連覇 ・写真部 佐藤礼偲 全国高総文祭 文部科学大臣賞	3年次主任 水尻 浩一 1組(普通) 布施 良介 2組(普通) 渡辺まり子 3組(機械) 青山 武 4組(電子) 池田 昭彦 5組(エネ) 多田 和弘	6組(環境) 高橋 誠 7組(ビ流) 阿部 容子 8組(ビ会) 佐久間辰巳 9組(情報) 蒲生 定之	2年次主任 鎌田 英人 1組(普通) 豊田 彩子 2組(普通) 徳永 聡 3組(機械) 新田佳奈子 4組(電子) 長谷部 努 5組(エネ) 雷慳 和也	6組(環境) 高橋 裕 7組(ビ流) 小野伸太郎 8組(ビ会) 佐藤 千穂 9組(情報) 難波 秀幸	1年次主任 齊藤 功一 1組(普通) 庄司 吉郎 2組(普通) 嶋屋 道子 3組(機械) 三浦 孝典 4組(電子) 工藤 茂 5組(エネ) 齋藤映理子	6組(環境) 堀 晃太郎 7組(ビ流) 大谷 薫 8組(ビ会) 青木 孝雄 9組(情報) 堀川 一樹
		1050(男子568 女子482)								
		3年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉 2年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉 1年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉	小林 凜生							
2019 (R1)	鈴木 和仁	114	三浦 えみ	・平成から令和へ ・工業科4科から3科へ ・新型コロナ感染拡大防止による卒業式 ライブ配信	3年次主任 鎌田 英人 1組(普通) 豊田 彩子 2組(普通) 徳永 聡 3組(機械) 新田佳奈子 4組(電子) 長谷部 努	5組(エネ) 雷慳 和也 6組(環境) 高橋 裕 7組(ビ流) 小野伸太郎 8組(ビ会) 佐藤 千穂 9組(情報) 難波 秀幸	2年次主任 齊藤 功一 1組(普通) 庄司 吉郎 2組(普通) 嶋屋 道子 3組(機械) 小山 剛史 4組(電子) 工藤 茂	5組(エネ) 齋藤映理子 佐藤 敏 6組(環境) 堀 晃太郎 7組(ビ流) 大谷 薫 8組(ビ会) 青木 孝雄 9組(情報) 堀川 一樹	1年次主任 阿部 諭 1組(普通) 丸谷 浩之 2組(普通) 庄司麻衣子 3組(機制) 福岡 傑 4組(電電) 遠田 幸平	5組(環境) 嵐田 学 6組(ビ流) 梅津 吉絵 7組(ビ会) 増子 博孝 8組(情報) 湯澤 一
		997(男子537 女子460)								
		3年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉 2年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉 1年8クラス〈普2・工3・商2・情1〉	鈴木 真斗							
2020 (R2)	鈴木 和仁	106	大川 和彦	・コロナ禍による学校閉鎖 ・入学式のライブ配信 ・東京オリンピック・パラリンピック延期 ・インターハイ、夏の甲子園大会等主だった 全国大会の中止 ・オンラインによる第1回光陵同窓会開催 (2020/11/23)	3年次主任 齊藤 功一 1組(普通) 庄司 吉郎 2組(普通) 嶋屋 道子 3組(機械) 小山 剛史 4組(電子) 工藤 茂	5組(エネ) 佐藤 敏 6組(環境) 堀 晃太郎 7組(ビ流) 大谷 薫 8組(ビ会) 青木 孝雄 9組(情報) 堀川 一樹	2年次主任 阿部 諭 1組(普通) 丸谷 浩之 2組(普通) 庄司麻衣子 3組(機制) 福岡 傑 4組(電電) 遠田 幸平	5組(環境) 嵐田 学 6組(ビ流) 梅津 吉絵 7組(ビ会) 小笠原智哉 8組(情報) 湯澤 一	1年次主任 古川 武房 1組(普通) 伊藤 茂樹 2組(普通) 佐藤 実穂 3組(機制) 眞田 広幸 4組(電電) 加藤 勇次	5組(環境) 是谷 実 6組(ビ流) 佐々木 剛 7組(ビ会) 増子 博孝 8組(情報) 萬年 祐子
		954(男子534 女子420)								
		3年9クラス〈普2・工4・商2・情1〉 2年8クラス〈普2・工3・商2・情1〉 1年8クラス〈普2・工3・商2・情1〉	市原 日和							
2021 (R3)	藤田 雅彦	103	佐藤 裕子 阿部 主	・8クラス完成年度 ・東京オリンピック・パラリンピック開催 ・夏の甲子園予選大会 野球部ベスト4 ・開校10周年記念式典・記念講演会開催	3年次主任 阿部 諭 1組(普通) 丸谷 浩之 2組(普通) 庄司麻衣子 3組(機制) 福岡 傑 4組(電電) 遠田 幸平	5組(環境) 嵐田 学 6組(ビ流) 梅津 吉絵 7組(ビ会) 小笠原智哉 8組(情報) 湯澤 一	2年次主任 古川 武房 1組(普通) 伊藤 茂樹 2組(普通) 佐藤 実穂 3組(機制) 眞田 広幸 4組(電電) 加藤 勇次	5組(環境) 是谷 実 6組(ビ流) 佐々木 剛 7組(ビ会) 増子 博孝 8組(情報) 萬年 祐子	1年次主任 青木 孝雄 1組(普通) 岡部あけみ 2組(普通) 堀川 一樹 3組(機制) 奥山 崇平 4組(電電) 斉藤 哲也	5組(環境) 石川 創太 6組(ビ流) 小鷹健一郎 7組(ビ会) 高橋 克幸 8組(情報) 丸山 倫史
		846(男子534 女子420)								
		3年8クラス〈普2・工3・商2・情1〉 2年8クラス〈普2・工3・商2・情1〉 1年8クラス〈普2・工3・商2・情1〉	板垣 颯馬							

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
校長		中山 英行	校長	○								
副校長/校長		阿部 進	副校長		校長	○						
教頭/副校長/校長		鈴木 和仁	教頭	副校長			校長	○	○	○	○	
教頭/校長		藤田 雅彦									教頭	校長
教頭/副校長		伊藤 吉樹		教頭	副校長							
教頭/副校長		庄司 豊				教頭	○	副校長	○	○		
教頭/副校長		百瀬 克浩			教頭	副校長						
教頭/副校長		守屋 裕孝				教頭	副校長					
教頭		齋藤 一男	○	○	○							
教頭		齋藤 潤弥					○	○				
教諭/教頭	保健体育	佐藤 りか	教諭	○	○	○			教頭	○		
教頭		佐藤 有二						○	○	○		
教頭		高橋 秀典									○	
教頭		後藤 英実										○
教頭		庄司 洋一										○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	国語	池田 禎	○									
教諭	国語	佐藤 悟	○	○								
教諭	国語	佐々木 司	○	○	○	○						
教諭	国語	杉山 清子	○	○	○	○	○					
教諭	国語	渡会 裕子	○	○	○	○	○	○				
教諭	国語	荒井 伸哉	○	○	○	○	○	○				
教諭	国語	前田 孝夫	○	○	○	○	○	○	○			
教諭	国語	大谷 哲史		○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	国語	渡辺まり子			○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	国語	阿部 容子				○	○	○	○	○	○	○
講師	国語	上野 詩織				○						
教諭	国語	安藤 富美					○					
教諭	国語	大谷 薫						○	○	○	○	○
教諭	国語	堀 晃太郎							○	○	○	○
教諭	国語	佐藤 孝敏								○	○	
教諭	国語	佐藤 忠										○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	地歴公民	青山 尽	○									
教諭	地歴公民	中里 信哉	○	○	○	○						
教諭	地歴公民	渡部 糾	○	○	○	○						
教諭	地歴公民	五十嵐 洋	○	○	○	○	○					
教諭	地歴公民	大井 直	○	○	○	○	○	○	○	○		
教諭	地歴公民	吉續 正明	○	○	○	○	○	○				
教諭	地歴公民	星 光里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	地歴公民	伊藤 茂樹		○	○	○	○	○	○	○	○	○
講師	地歴公民	寒河江真央		○								
講師	地歴公民	加藤 伸				○						
教諭	地歴公民	佐藤 敏					○	○	○	○	○	○
教諭	地歴公民	布施 良介					○	○	○	○	○	○
教諭	地歴公民	佐藤 康典							○			

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	地歴公民	丸谷 浩之								○	○	○
教諭	地歴公民	佐々木 剛									○	○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	数学	池田 正敏	○	○	○	○	○	○	○			
教諭	数学	枝松 義照	○	○	○	○						
教諭	数学	木村 良二	○	○	○							
教諭	数学	信田 幸雄	○	○	○							
講師	数学	加藤 修平	○	○								
教諭	数学	齊藤 功一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	数学	長谷川良昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	数学	高橋 卓也		○	○	○	○	○	○	○		
教諭	数学	須貝 泉		○	○	○	○					
講師	数学	萩原 潤茂				○						
教諭	数学	須賀 慎一					○	○	○			
教諭	数学	佐藤 成美					○	○	○	○	○	○
教諭	数学	櫻田 正剛						○				
教諭	数学	堀川 一樹							○	○	○	○
講師	数学	吉泉 亜美							○			
教諭	数学	梅津 銀也								○	○	○
教諭	数学	金谷 伸一									○	○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	理科	榎本 弘	○	○								
教諭	理科	青山 武	○	○	○	○	○	○	○			
教諭	理科	水尻 浩一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教諭	理科	池田 健	○									
教諭	理科	長谷部 満	○									
教諭	理科	三宅 国彦	○	○								
教諭	理科	豊田 彩子	○	○	○	○	○	○	○	○		
教諭	理科	長南 友也	○	○	○	○	○	○				
教諭	理科	奥山 崇平	○								○	○
教諭	理科	庄司 吉郎		○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	理科	小笠原智哉			○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	理科	上西 祥史			○	○						
講師	理科	鷹島 健佑			○							
講師	理科	奥山 怜					○					
教諭	理科	中島 崇裕							○	○	○	○
教諭	理科	金子 隆								○	○	○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	保健体育	梅本 尚志	○									
教諭	保健体育	今田 信吾	○									
教諭	保健体育	須貝慎太郎	○	○								
教諭	保健体育	菅谷 昭則	○	○	○	○	○					
講師	保健体育	齋藤 靖拡	○									
講師	保健体育	鈴木 愛梨	○									
教諭	保健体育	徳永 聡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	保健体育	嵐田 学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	保健体育	菅原 一美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	保健体育	管 美的		○	○	○	○	○				
教諭	保健体育	石垣 馨		○	○	○	○	○	○			
講師	保健体育	若嶋 孝		○	○		○	○	○	○		
講師	保健体育	門間 良		○								
教諭	保健体育	宮内 悟			○	○	○	○				
教諭	保健体育	加藤 和彦			○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	保健体育	升 実			○	○						
講師	保健体育	佐藤 奈月				○						
教諭	保健体育	富樫 和也					○	○	○	○	○	○
講師	保健体育	鈴木 正						○				
講師	保健体育	齋藤 岳人						○				
講師	保健体育	羽島 由貴							○			
非常勤講師	保健体育	澤田 美佳							○			
教諭	保健体育	福岡 傑							○	○	○	○
教諭	保健体育	高橋 克幸									○	○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	芸術 音楽	佐藤 優子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
講師	芸術 音楽	佐々木みどり	○		○	○	○	○				
講師	芸術 音楽	桂野 由里		○								
教諭	芸術 音楽	萬年 祐子							○	○	○	○
講師	芸術 美術	久保 淑子	○									
教諭	芸術 美術	増子 靖	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	芸術 美術	新田佳奈子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教諭	芸術 美術	齋藤 拓										○
教諭	芸術 書道	阿曾 美幸	○	○	○							
講師	芸術 書道	後藤千紗子	○	○								
講師	芸術 書道	中村 聡		○								
教諭	芸術 書道	荘司麻衣子			○	○	○	○	○	○	○	○
講師/非常勤講師	芸術 書道	前森 由紀				○	○	○	○	○	○	○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	英語	小松 宣子	○									
教諭	英語	管 幹雄	○									
教諭	英語	池田 律子	○									
講師	英語	阿宗 睦子	○									
教諭	英語	井上 亮子	○	○								
教諭	英語	大裕 一雪	○	○	○							
教諭	英語	石井 哲司	○	○	○	○						
教諭	英語	澁谷 正敏	○	○	○	○	○	○				
教諭	英語	横山 恵子	○	○	○	○	○	○	○	○		
教諭	英語	松永久美子	○			○	○	○				
教諭	英語	奥山 浩志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	英語	齋藤造酒雄		○								
教諭	英語	門脇 道雄		○								
講師	英語	直井千佳子		○					○	○		

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	英語	嶋屋 道子		○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	英語	佐藤 実穂		○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	英語	高橋 茜		○	○	○	○	○	○	○	○	○
講師	英語	青塚 月子			○				○			
講師/実習講師	英語/家庭	五十嵐奈保				○			○	○	○	○
教諭	英語	角田 理							○	○		
教諭	英語	松本 陽子									○	
教諭	英語	齊藤 哲也									○	○
教諭	英語	石川 創太									○	○
非常勤講師	ロシア語	幅屋 寿三	○	○	○	○	○	○				
非常勤講師	ロシア語	金子真理子							○	○	○	○
非常勤講師	中国語	芳賀 久子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非常勤講師	韓国語	阿部 松子		○								
非常勤講師	韓国語	岡部 明子				○	○	○	○	○	○	○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	家庭	澤田 裕子	○	○								
教諭	家庭	大場 広子	○	○	○	○	○	○	○			
教諭	家庭	佐藤 千穂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実習講師	理科・家庭	池田 京子	○	○								
教諭	家庭	佐藤 直子			○	○	○					
実習講師	理科・家庭	上野 純子			○	○						
実習講師	理科・家庭	富樫 知佳					○	○	○			
講師	家庭	大井 英						○				
非常勤講師	家庭	菅原恵美子							○			
教諭	家庭	岡部あけみ								○	○	○
講師	家庭	佐藤 理香										○
在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	機械	伊藤 兵吉	○									
教諭	機械	青山 信一	○									
教諭	機械/機械制御	三浦 孝典	○	○	○	○	○	○	○			
教諭	機械/機械制御	小山 大央	○	○	○	○	○	○	○			
教諭	機械/機械制御	小山 剛史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
講師	機械/機械制御	村上 崇	○	○	○	○	○					
教諭	電子機械/機械/機械制御	池田 昭彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	機械/機械制御	五十嵐 航	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	機械/機械制御	大瀧 善弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	機械/機械制御	鎌田 英人		○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	機械/機械制御	眞田 広幸				○	○	○	○	○	○	○
教諭	機械/機械制御	松浦 敏行						○	○	○		
教諭	機械/機械制御	早坂 治孝								○	○	
教諭	機械/機械制御	伊藤 泰司										○
教諭	電子機械	池田 三郎	○									
教諭	電子機械/機械制御	工藤 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	電子機械	菅原 敏	○	○	○	○	○	○	○	○		
教諭	電子機械	御船 直人	○	○	○	○	○					
主任実習教諭	電子機械	遠藤 三雄	○	○	○	○	○	○	○			

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
主任実習教諭	電子機械	矢口 光一	○	○	○	○	○	○				
教諭	電子機械	池田 修治		○	○							
教諭	電子機械/機械制御	長谷部 努						○	○	○	○	
主任実習教諭	電子機械/環境技術	佐藤 文治							○	○	○	
講師	エネルギー技術	日向 洋伸	○									
教諭	エネルギー技術	高宮 賢吾	○	○	○	○	○					
教諭	エネルギー技術/電気電子	古川 武房	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	エネルギー技術/電気電子	高橋 亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	エネルギー技術/電気電子	遠田 幸平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
主任実習教諭	エネルギー技術/電気電子	村上 正和	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
主任実習教諭	エネルギー技術/電気電子	早坂 貢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	エネルギー技術	多田 和弘		○	○	○	○	○	○	○		
教諭	エネルギー技術	齋藤映理子						○	○	○	○	○
講師/教諭	エネルギー技術/電気電子	加藤 勇次						○	○	○	○	○
教諭	エネルギー技術/電気電子	五十嵐 誠									○	
教諭	環境技術	伊藤 造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	環境技術	是谷 実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	環境技術	高橋 裕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	環境技術	伊藤 克之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	環境技術	阿部 諭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
講師	環境技術/機械制御	堀 彰太	○	○	○					○		
実習教諭	環境技術	小関 弘成	○	○								
講師	環境技術	渡部 清一			○							
教諭	環境技術	高橋 誠				○	○	○	○			
講師	環境技術	田中 巖				○	○	○		○		
実習講師	環境技術	難波詩歩理							○	○		
教諭	環境技術	小松 正									○	○
主任実習教諭	環境技術	佐藤 貴美										○

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	国際経営	猪又 義則	○									
教諭	国際経営/ビジネス流通	鈴木 宏	○	○	○	○	○	○	○	○		
教諭	国際経営	成澤 弘之	○	○	○	○						
教諭	国際経営	栗木 泰智	○	○	○	○	○					
教諭	国際経営	後藤 俊之	○	○	○	○						
教諭	国際経営	大野みどり	○	○	○							
実習教諭	国際経営	今井 藍	○	○								
講師	国際経営	高橋 朋	○									
講師	国際経営	高橋 直人		○	○							
講師	国際経営	菅原 輝			○							
実習講師	国際経営/ビジネス会計	佐藤 佳奈				○	○					
教諭	ビジネス流通	齋藤 司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	ビジネス流通	小野伸太郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	ビジネス流通	加藤 吉絵	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	ビジネス会計	増子 博孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	ビジネス会計	加藤 憲一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	ビジネス会計	青木 孝雄						○	○	○	○	○
教諭	ビジネス会計	佐久間辰巳					○	○	○	○	○	○

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	ビジネス流通	小鷹健一郎									○	○
実習講師	商業	五十嵐優希	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
教諭	情報	蒲生 定之	○	○	○	○	○	○	○			
教諭	情報	湯澤 一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	情報	櫻井 敬士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	情報	五十嵐寛之		○	○	○	○	○	○	○	○	○
実習講師/講師/教諭	情報	難波 秀幸		○	○	○	○	○	○	○	○	○
実習講師/教諭	情報	丸山 倫史			○	○	○	○	○	○	○	○
実習講師	情報	三浦 翔				○	○					
実習講師	情報	大石 典子								○	○	○
非常勤講師	情報	安達 昭久				○						
非常勤講師	情報	三浦 彰人								○		

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
養護教諭		本田 里香	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
養護教諭		梶原かをる	○									
養護助教諭		大橋 千香		○								
養護助教諭		本間 由佳			○	○						
養護助教諭		榎本久美子				○						
養護助教諭		松本奈津子					○					
非常勤講師		高橋 敬子						○				
養護教諭		伊藤 杏美						○	○	○	○	○

在職時職名	氏名		在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
A L T	ダニエル ピアース		○	○								
A L T	ジョナサン スワロウ		○									
A L T	クリストファー ブロード		○	○	○	○						
A L T	サム ウォレス			○	○	○						
A L T	マシュー コーバリー					○	○	○	○			
S E A	ベンジャミン ボールズ					○	○	○				
A L T	フィオナ フラヴィン								○	○	○	
A L T	メアリー ヨッキー					○	○	○	○	○	○	
A L T	リー チャールズ											○
A L T	グレンダ アラゴン											○
A L T	サラ リー											○

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
事務部長		高橋 博美	○	○								
事務部長		池田 俊治			○							
事務部長		小林 三出				○	○					
事務部長		菊地 一晃						○	○			
事務部長		工藤 仁								○	○	
事務部長		相馬 功										○
事務部次長		霜越 勤	○									
事務部次長		尾形 太志		○	○	○						
事務部次長		工藤 正信					○	○				

在職時職名	教科 学科	氏名	在職期間									
			2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
事務部次長		仁部 亨							○	○		
事務部次長		齋藤 英樹									○	○
総務主査		阿部 正基	○									
総務主査		飛塚 仁		○	○	○						
総務主査		上野 千穂					○	○	○			
総務主査		岡部 保子								○	○	○
主査		岡崎 瞳				○	○					
主査		武田 幸子	○	○	○							
主事		堀 明奈	○									
主事		武者 幸		○	○	○	○	○	○	○		
主事		小野真奈加						○	○	○		
主事		大江智恵子			○							
主事		伊藤 汐七									○	○
主事		名古 祐介									○	○
副主任		弭間 正典	○	○								
副主任		渡部 源市			○	○						
学校技能員		樋坂 寿章	○	○	○	○	○	○	○			
学校技能員		門田 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
学校技能員		池田 忠博	○	○	○	○						
学校技能員		佐藤 和夫								○	○	○
学校技能員		佐藤 守					○	○	○	○	○	○
学校技能員		松本 誠也										○
学校司書		榊原有友子	○	○	○	○	○	○	○			
学校司書		堀 沙智	○									
学校司書		三浦かおり								○	○	○
決算事務補助員		石山 教子	○									
学校技能員		町野 聡美	○									
校務支援員		山本 昌昭	○									
図書館運営サポート員	理科/家庭	門脇 望月	○							○		
特別教育支援員		松本 泰典	○									
団体雇用職員(事務室)		小川久美子	○	○	○	○	○					
団体雇用職員(進路室)		梶原 裕美	○									
団体雇用職員(職員室)		森谷はるか	○	○	○							
PTA職員(職員室)		鈴木 淳子				○	○	○				
PTA職員(進路室)		梅津 洋美					○	○	○			
PTA職員(進路室)		石澤真喜子		○	○	○				○	○	○
PTA職員(事務室)		高橋志津子						○	○			
PTA職員(事務室)		三国はるみ								○	○	○
校務補助員		伊勢 敬子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
校務補助員		仁藤 智子							○			
学校警備員		佐藤 隆一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校警備員		小野 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

山形県立酒田光陵高等学校
開校10周年記念誌

令和4年3月1日 発行

発行者 酒田光陵高等学校 開校10周年記念事業実行委員会
〒998-0015 山形県酒田市北千日堂前松境7-3
TEL 0234-28-8833 FAX 0234-28-8834
<https://www.sakatakoryo-h.ed.jp/>
印刷所 株式会社小松写真印刷